



平成22年11月2日

各 位

会社名 東海染工株式会社
代表者名 取締役社長 八代 芳明
コード番号 3577 東証・名証第1部
問合せ先 取締役管理部長 津坂 明男
(TEL 052-581-8141)

平成23年3月期第2四半期累計期間の業績予想の修正 及び特別損失の追加計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年5月10日に公表しました平成23年3月期第2四半期累計期間（平成22年4月1日～平成22年9月30日）の業績予想（連結・個別）を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。また平成23年3月期第2四半期累計期間において、下記のとおり特別損失を追加計上することになりましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成23年3月期第2四半期累計期間 連結業績予想数値の修正（平成22年4月1日～平成22年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,000	△160	△230	330	9.51
今回修正予想(B)	6,920	△410	△440	300	8.65
増減額(B-A)	△80	△250	△210	△30	—
増減率	△1.1%	— %	— %	△9.1 %	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	7,358	△296	△336	△537	△15.49

(2) 平成23年3月期第2四半期累計期間 個別業績予想数値の修正（平成22年4月1日～平成22年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,800	△300	△330	370	10.67
今回修正予想(B)	4,810	△530	△510	340	9.81
増減額(B-A)	10	△230	△180	△30	—
増減率	0.2%	— %	— %	△8.1 %	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	4,966	△460	△524	△628	△18.10

(3) 修正の理由

(連結業績) 当第 2 四半期累計期間は、国内染色加工市場におきまして、個人消費の持ち直しや企業の過度な在庫調整の是正により、一時的に受注の回復基調が見られましたが、景気先行きの不透明感から、本格的な需要回復には至っておらず、厳しい受注環境が続きました。

このような状況下、当社グループは、前期から国内染色加工事業の再構築に着手し、当期に織物加工事業統合を完了させた一方で、同業他社からの事業継承により新たに磐田事業所を発足するなど売上の維持・拡大にも積極的に取り組みました。この結果、国内繊維事業の売上高は、第 1 四半期に織物加工事業統合の影響により、一時的に落ち込みましたが、第 2 四半期以降、前年同期を上回る売上を確保し、ほぼ予想通りとなる見込みです。しかしながら、海外子会社の売上高は、円貨への為替換算の影響により予想を下回り、連結売上高は、前回予想を下回り 6,920 百万円となる見込みです。

利益面におきましては、海外子会社の業績は堅調に推移したものの、国内染色加工事業におきまして、織物加工事業統合における設備移設過程にプリント加工の主力設備に稼働休止期間が約 1 ヶ月半発生し、採算性の高いプリント加工の生産が想定以上に落ち込んだほか、6 月から新設・稼働開始した磐田事業所が、事業継承するまでの一時的な生産ライン停止により、本格生産開始が 10 月以降となった結果、営業利益及び経常利益は、遺憾ながら前回予想を下回り、営業損失 410 百万円、経常損失 440 百万円となる見込みです。四半期純利益につきましては、事業再構築費用の総額が後記の事業再構築費用の追加発生を含めても当初予想を下回りましたが、各利益段階の損益悪化の影響により、前回予想を下回る見込みのため、300 百万円に修正をいたします。

(個別業績) 個別業績の修正につきましては、売上高は前回予想を確保出来る見込みですが、営業利益、経常利益、四半期純利益については、連結業績の修正理由と同様に主に国内染色加工事業における業績悪化により修正をいたします。

以上の理由により、平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想及び個別業績予想を上記の通り修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、平成 23 年 3 月期第 2 四半期決算発表（平成 22 年 11 月 11 日予定）に公表する予定であります。

2. 特別損失の追加計上

平成 22 年 7 月 23 日付「特別利益及び特別損失の発生に関するお知らせ」にて公表いたしました織物加工事業統合に伴う特別損失の計上につきまして、平成 22 年 6 月末に名古屋事業所から浜松事業所へのプリント加工設備の移転を完了し、固定資産廃棄損等の事業再構築費用を連結では 403 百万円、個別では 411 百万円を平成 23 年 3 月期第 1 四半期決算にて特別損失として計上いたしました。しかしながら、今般、織物加工事業統合による生産効率改善効果を更に高めるため、工場設備の再度見直しを実施した結果、平成 23 年 3 月期第 2 四半期決算にて固定資産廃棄損等の事業再構築費用 69 百万円を特別損失として追加計上することになりました。この結果、事業再構築費用の合計は、連結では 473 百万円、個別では 480 百万円となります。

(ご注意) 上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な状況に基づき判断した見通しであり、今後、様々な変動要因により、実際の業績が上記数値と異なる可能性があります。

以 上